



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 5. 24

3, 4年生用 No.14

社会人としての基本的マナーを身につける



企業訪問をしていて企業の方よりよく言われることは「**社会人としての基本的マナーをしっかりと身につけて欲しい**」といったことです。「挨拶をきちんとする」「人としての礼儀をわきまえる」「何かに世話になればお礼を言う」「失敗したらあやまる」「上下の人のけじめを付ける」「仕事に勝手に抜け出さない」・・・あげていけばきりがありますが、こうした大人から見れば当たり前と思っていることが最近の若い人がきちんと出来ない傾向が見られがちです。

世の中では往々にして年配者の感覚と若い人の感覚にずれ(世代間ギャップ)が生じがちです。年配者から見ると当然だと思っていることが、若い人から見るとさほどこだわることではないと感ずるというものです。若い時今の若者と同じように感じていた人が、年を重ねるにつれその当時の年配者と同じように感ずるということはよくあることです。

社会人としての**基本的マナー**というものは、**そもそも「社会」に出たとき人間関係をスムーズに行う為の長年積み上げた知恵**といえるでしょう。人生経験の少ない若い人は、若い時はそんなことはどうでも良いと思っても、結局はそうした知恵を身につけていくことが大切だと思います。そのためにも自分の思いだけを優先させるのではなく、外から見た自分を意識することを普段から心がけることが必要でしょう。また普段から親や先生達から言われていることを素直に聞き自分を振り返ることも大切でしょう。皆さんの多くは後一年で社会人の仲間入りをしなくてはなりません。社会に出るまでに少しでも社会的マナーを身につけるよう心がけて欲しいものです。



金環日食観測

太陽の中心部分が月に隠される「金環日食」が、5月21日午前7時過ぎから九州から関東にかけての広い範囲で観測されました。

当日は心配された天気も長野県内は晴れ渡り(太平洋側各地は曇りや雨)、太陽は午前6時頃から少しずつ欠け始め、「金環日食」は午前7時半過ぎに観察されました。

金環日食は、太陽と月と地球が一直線に並び、太陽の中心部分が月に隠れてリング状に見える天文現象です。日本列島のこんなに広い範囲で観測できたのは平安時代以降およそ900年ぶりとのこと、次回は300年後とのことで、私達は大変貴重な体験をしたこととなります。

私は朝6時半に家を出、学校で観測しました。学校に着くとどこかのクラスなのか何人かの生徒が玄関前で観測していました。日食が始まり7時過ぎには明らかに太陽の光が弱くなったことが感じられ、金環日食が近づくにつれ太陽の光も弱まり、当たりが幾分薄暗くなってきました。当初思っていたほど暗くはなりませんでした。金環日食をリアルタイムに体験できたのはまさに貴重な体験でした。紙に小さな穴を開けその影を地面に映してみると、まさに日食のかたちの影が見られましたし木漏れ日も同様でした。

この日天文上の歴史的場面に立ち会えた喜びをかみしめました。